



シャチとサメはどうちがうの

サメは魚の仲間

魚の仲間は、体のつくりから、大きく二つに分けられます。ふつうの魚のグループと、ちょっと体のつくりがちがうサメやエイの仲間です。サメは、口の後ろにえら穴、目の後ろにふん水こうがあり、うるこも、ふつうの魚のうることはちがっています。うきぶくろもありません。でも、魚の仲間で、暖かい海にすみ、たいいてい、おなかの中で卵がかえって、サメの子どもで外に生まれてきます(卵たいせい)。肉食性で、海面近くを泳ぎ回り、魚をとらえて食べ、種類によっては、人間もおそって食べます。

シャチは、ほ乳動物の仲間

シャチは、ほ乳動物であるクジラの仲間です。クジラは、歯があるハクジラと、歯がクジラヒゲに変わってしまったヒゲクジラの仲間に分かれますが、イルカやシャチは、ハクジラの仲間です。

シャチは、頭がよく、十数ひきの群で生活し、体長5～9メートル、時速50キロメートルのスピードで泳げます。魚のほかに、ペンギン、アザラシ、オットセイ、イルカなどの大型動物までおそって食べます。

サメは種類によっては、シャチより大型のものもいますし、気があらく、人食いザメとおそれられているものもいます。シャチも大型動物をおそって食べることから、サメと似ているような気がしますが、実際には、体のつくりも、グループも、ちがう仲間の動物なのです。(監修・今泉 忠明)

